

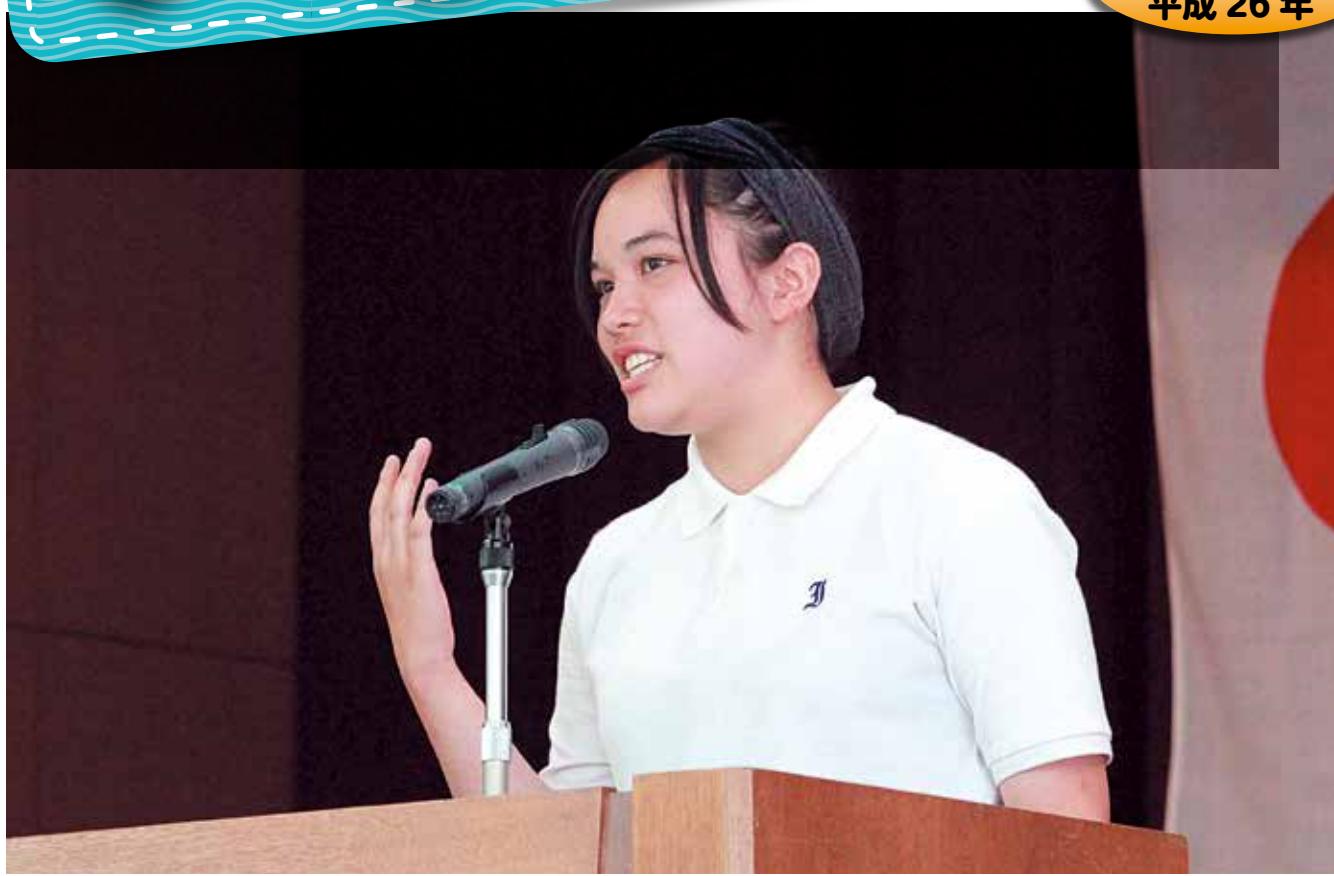
広報

第902号

いながわ

10月

平成26年



「思いやりの行動を自然にできる日本人」について、英語で熱く語る! (英語スピーチコンテスト)

特集

あなたにはありますか?

「災害への危機感」

~町制施行60周年~ 猪名川町の魅力 再発見! 8

いながわの星座★「みなみのうお座」 19

いなが♥輪 民田ひまわり会
杉生・西畠練り込み保存会 24

瞬(ときめき) 野路 志保美さん 26

私のオススメ★ 杉生・西畠地区
八坂神社「練り込み」 27

特派員報告
五地区秋祭り~五穀豊穫を願って~ 28



大野山頂からスーパームーン!!! (柏原)

あなたには
ありますか？

【災害への危機感】

今年の夏は本町でも「8月10日の台風11号」や「16日の大雨」(以下総称して「8月豪雨」といふ)により、近年経験したことのない大きな被害を受けました。予期せぬ大規模災害に見舞われたとき、町の災害対策本部としてできることには限界があることも見てきています。

他人事ではなく一人ひとりが

自分のこととして防災について
考えもらえるよう、8月豪雨
の災害の写真と合わせ、地域で
防災に関わる人たちの思いを紹
介します。

町では、昔から大雨の際には猪名川やその支流が氾濫するなど洪水災害を経験してきました。また、過去の記録から昭和40年代には、大雨による地すべりが町北部の山間部で発生したことあります。

風水害だけでなく、今後の發生が懸念される南海トラフ地震に対する備えも必要です。

町の防災への取り組み

地域の防災力として「自主防災組織」の強化などと合わせて、町としての設備などの充実も進めていかなければなりません。

ただし、ゲリラ豪雨の音によりスピーカーの音声が聞き取りづらい場合もありますので、テレビや町が配信する「いなばうネット」の緊急情報にも注意してください。



原地区の河川の氾濫(写真上、台風11号)と9月3日の同じ場所の様子(写真下)



肝川地区 (16日の大雨)

8月豪雨のあと、改めて「防災マツフ」の確認を



「スピーカーテスト」を実施



伏見台地区 (16日の大雨)



ぼうと学ぼう！防災マップの活用法を紹介しています



10月11日（土）、正午からスピーカー音声を発信するテストを数回行います。大きな音を発信し、「ご迷惑をおかけしますが、あらかじめ」「了承ください。」

※都合により日程が順延となる場合があります。

8月豪雨のあと、改めて「防災マップ」の確認を



北田原地区 (台風 11 号)

町では、昔から大雨の際に猪名川やその支流が氾濫するなど洪水災害を経験してきました。また、過去の記録から昭和40年代には、大雨による地すべりが町北部の山間部で発生したことあります。

風水害だけでなく、今後の発生が懸念される南海トラフ地震に対する備えも必要です。

また、町内各所の状況を確認するための河川監視カメラは5カ所（柏梨田地区・笹尾地区3カ所・島川向地区）に設置し、災害対策本部となる役場と、消防本部とが大雨などによる増水などの監視を行い、風水害時にスピーカーから情報発信を行います。

本年度はこれまでの台風などによる過去の風水害の経験から、災害時のための「無線機」、「無線スピーカー」および「河川監視カメラ」を導入し、これらを利用して町内の情報の「共有」と「発信」の取り組みを進めています。



緊迫する災害対策 本部の様子

「いなほうネット」の登録を



本校区では、川の氾濫と土砂災害が一番怖いと感じています。高齢者は災害時にはテレビがない人が増えているように感じます。

校区内の防災訓練では、消防で、いかに情報を得てもらえる環境を整備するかが課題となっています。実際、台風や大雨などの災害時には、各地域の班長が、高齢者の家に電話をかけ安否の確認と現在の状況などをお知らせしています。

私の住む杉生地区では、役場の避難指示を待つのではなく、各自の判断でスムーズに避難できるよう、警報が出た場合には自治会館を開放しています。今回の台風でも2世帯が避難した実績があり、有効な取り組みだと感じていることから、大島

小学校区全体でも進めていけるよう取り組んでいきたいと思っています。

近年猪名川町では、大規模な災害が起こっていないため、災害への備えのない人が増えているように感じます。

校区内の防災訓練では、消防

大島小学校区 まちづくり協議会

防災訓練 = 11月中に実施予定

運動会 = 10月26日(日)午前9時~
いずれもところ = 大島小学校



「まち協」って?

町内には7つの地域に分かれて「まちづくり協議会(まち協)」があります。地域の皆さんの「交流事業」や「防災訓練」などを行っています。まち協ごとに独自性のある取り組みを行っています。



猪名川小学校区 まちづくり協議会

防災訓練 = 10月18日(土)午前11時30分
運動会 = 10月19日(日)午前9時~
いずれもところ = 猪名川小学校

現在作成中のマップ上には、各自治会の一時避難場所や個人名が入っています。

特に高齢者や障がいのある方には少しでもいいから顔を出してほしいと思っています。訓練は、1回参加したらそれで終わりではなく、繰り返し参加することで身に付けてほしいと思います。

災害が町内で同時に発生した場合には、消防などは対応しきれないと思いますから、いかに地域

的には校区内の全家庭に配布し、緊急時の避難場所の把握や地域内での助け合いの際に活かしてもらいたいと思っています。

本校区は、防災訓練の参加率はいいとは言えません。しかし、地域で顔を覚えてもらい、災害時には早急な救助が行える

で助け合えるかが課題だと思っています。そんな時は、各自治会長を中心に、自主防災会のメンバーでそれぞれの地区の救助

に動くしかないです。

運動会・防災訓練など、地域の行事には少しでも顔を出してもらい、顔だけでも覚えてもらってください。子ども

達にも、大人の顔を覚えておくように言っています。それが防犯にもつながっていくと感じています。

いざという時には、まずは隣同士の助け合いが必要となるので、日頃からの「隣同士の付き合い」を大切にしていただきたいです。

よう、特に高齢者や障がいのある方には少しでもいいから顔を出してほしいと思っています。訓練は、1回参加したらそれで終わりではなく、繰り返し参加することで身に付けてほしいと思います。

災害が町内で同時に発生した場合には、消防などは対応しきれないと思いますから、いかに地域



ができるほどの盛況となっています。

しかし、実際には、同時に児童の引き渡し訓練も行っているため、子どもやその保護者の参加はあるものの、全体の参加率は低いのが現状です。

災害は、いつ・どこで発生するかわかりません。まずは、防災訓練に参加いただき、防災への意識と知識を高めてほしいと思います。

猪名川町はあまり大きな災害の経験がないことから、災害に対する住民意識が非常に低く、自分のところ(家)は大丈夫だろうと思い込んでいる人が多いように感じます。

このため、危険時に判断ができず、避難をしない人が多くいるのではないかと思

います。

本校区では、まだ自主防災組織が本来の機能を果たしていないように感じています。

このことから、11月には組織役員の意識向上を目的として、環境安全部会・衛生委員・老人会員・防犯委員・消防分団長が

は、役員自らが意識改革を行い、今後の自主防災につながるような取り組みにしたいと考えています。

防災訓練は、



まちづくり協議会の事業の中でも、運動会や田植えなどのイベントとは異なり、参加者が少ないので実態です。特に、ニュータウン

などは、高台にあり、水害などの危険性も少なく、災害に対する意識が薄いのかもしれません。広島県での土砂災害を見て、「いつ・どこで何が起こるかわからない」「安心できるところはない」という意識を持ち、他人事とは思わず、自分自身のことと捉え、関心を持つてもらいたいと考えています。

白金小学校区 まちづくり協議会

防災訓練の代わりに「人と防災未来センターの研修会」 = 11月9日(日)、役員対象

運動会 = 10月25日(土)午前9時30分~(白金小学校)



合同で『人と防災未来センター(神戸市)』へ研修に行く予定です。

幸いにも町内では、大きな被害が起こっていないことから、災害の恐ろしさを忘れがちになっているかもしれません。8月豪雨の影響で、それぞれが「他人ごとではない」と感じていると思うので、この研修会で

「まち協」の活動に参加しよう!

これから季節はそれに運動会が予定されていますので、参加することで地域での交流を深め、地域の防災力強化にも役立てましょう!

~みんなにできること~

地域での取り組み



本校区では、災害時に実際に地域内で河川の氾濫やがけ崩れが起こっていることもあります。避難場所である楊津小学校への移

です。また最低限の備蓄品は用意しておくなど、日頃から自主防災に対する意識は常に持っています。

また、このような訓練も大事ですが、それ以前に「地域住民の連携を図る事」が大事だと考えています。

楊津小学校区 まちづくり協議会

防災訓練 = 11月22日(土)午前9時~
運動会 = 10月25日(土)午前9時~
いずれもところ = 楊津小学校



動中に二次災害に遭うことも想定されます。そこで、避難ルートや避難場所については、各自治会内で安全を最優先した形で決めています。

いざという時には、体が自然に動くようにこの避難訓練を繰り返していく必要があると考えています。

「自分は大丈夫」という意識を捨て、いつ起こるか分からぬ災害に備え、「自分の命は自分で守る!」という意識を持ち、訓練にも参加いただきたい

です。代の参加が少ないのが現状です。これからは若い世代の参加を促す工夫をしていきたいと思っています。若い世代の皆さんには、地域に心をもっていただき、柔軟な発想で地域を引っ張っていってほしいと思っています。これまで活動の中心となってきた高齢の世代がサポート役に回る事で、さらに一体感のある地域にしたいと思っています。

「災害への危機感」



在来地区は、どこにだれがいて、足が悪いなどの状況把握ができてあり、消防団もあるので連携は取りやすいですが、ニュータウンなどでは、救助が必要な方がどれくらいいるのか、把握しきれていない可能性があります。災害時にも近所の方が避難されるのか、誰をどこに助けに行つたらいいのかわからないなど、普段からあまり付き合いがないため、連絡が行き届かないケースも想定されています。

在来地区は孤立しないように、環境を良くしておく対策が必要と考えます。ニュータウンでも、高台だからとの安心感があるかもしれません、排水路が詰ま

ると水が家に入てくる恐れもあるので、掃除をしておくなど、事前の点検が大切です。

このようなことの意識付けができるため、防災訓練を行っていますが、関係者以外の参加が少ないのが実態です。

高齢の方など、困ったときの

を持ち、訓練に参加してくれる方が増えることを期待しています。特に若い人にも危機感を持って積極的に参加してほしいです。

足腰の元気な若い人には、お年寄りへの声かけをしていただくなど、こんな時にこそ若い力を発揮してもらいたいです。

猪名川町を故郷として生きていく若い人たちに、町を守っていく意識を持ってもらい、町の中心となって活躍して欲しいです。



つつじが丘小学校区 まちづくり協議会

防災訓練 = 11月28日（金）

運動会 = 10月18日（土）午前9時～

いずれもところ = つつじが丘小学校

田中危機管理室
室長



本年度は、すでに3回と、近年はない頻度で「災害対策本部」を開設しています。同本部は、緊急時に町の防災マニュアルに基づき、その組織が設置されるもので、指令が発令されると24時間いつでも職員が役場に参集し、通常の業務とは異なり、災害に対応するための体制で情報伝達・危険箇所の状況確認・避難所の開設などを行います。

町では、災害対策の一環として備蓄品や土のうを常備していますが、台風11号で大きな被害が出た中、土のうなどの補充が間に合わないうちに翌週の大雨が降り、町内各地すでに地盤が緩んでいたことなどもあり、多数の被害が発生しました。

南海トラフ大地震なども想定されていますが、実際に地震が発生した際には、混乱の中で救援物資の多くが都市圏に流れ、本町への物資は届きにくいことも想定されます。町としての備えも必要ですが、町の皆さんにもそれぞれの役割があるということを認識していただき「自分の身は自分で守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という気持ちで日頃から備えるなど、私達と一緒に災害対策に向き合ってほしいと思います。

＜問合せ＞ 災害対策本部などに関すること 危機管理室（☎ 766-8703）
まちづくり協議会に関すること 参画協働課（☎ 766-8783）

行政ができること

町内の49自治会には「自主防災組織」があります。これは、阪神・淡路大震災を機に各地で発足が広がったものです。設立当初は、なかなか住民の皆さんに受け入れていただけない部分もありましたが、自主防災会の研修や防災訓練を進めることで、皆さんの意識は少しずつ変わってきています。

自主防災会での取り組みは、高齢者が多いとか、山間部である、川の氾濫の恐れがあるなど、地域ごとに特性が異なることもあります。地域の特性に合った組織や訓練を自分たちで考えることが必要です。自主防災会の取り組みや防災訓練、災害時には「誰を・どう助けるべきか」の把握につながります。

阪神・淡路大震災の際には、消防・警察・自衛隊などの手が足りず、倒壊家屋からの救助の80%が、近隣住民の皆さん之力であったといわれています。

住民の皆さん一人ひとりが、自分や家族、近隣の人を守るのは自分達であるという意識を高め、そのために地域での防災訓練などがあるということを、強く意識していただきたいと思います。



荒木防災・訓練担当
消防本部
副主幹



校区内に防災部会を設置しており、防災士の資格を持ついる役員が何人かいて、日頃から各地で行われている防災研修に参加し、切磋琢磨しています。また、防災部会で毎月勉強会を開いており、防災知識の向上を図っています。

春・秋のクリーンアップ作戦の際は、防災倉庫の点検もしており、道具の使い方などの説明をしています。また、使用に慣れてもらうた



めに日頃から自由に使ってくださいと開放しています。

防災訓練では、土のうの積み方、消火器の使い方、地震時にはまず第一に頭を守る行動をとるなど、いざという時の行動のとり方などの実践的な訓練を行っています。

松尾台校区 まちづくり協議会

防災訓練 = 10月16日（木）午後1時～

運動会 = 10月26日（日）午前9時～

いずれもところ = 松尾台小学校

しかし、ニュータウンの方の防災訓練の参加率が低く、自治会の加入率も低いのが実態です。災害時には自治会単位での防災組織が一番身近になるので、様々な事情はあると思いますが、できるだけ自治会には加入していただきたいです。

8月豪雨のときは、地域の防災部の役員が最初に濁流を発見

し、連絡を受けた現場にいち早く急行できましたし、役員も含めた近所の人達で一緒に土のうを積むなど、初期対応は地域の

住民で行いました。

大きな災害が起きた時に、行政が対応してくれると思っていてはダメで、自分の命・財産は自分で守るという意識が大切です。

自分の住んでいるところは大丈夫、自分は災害に無縁だという「正常化の偏見」を捨て、隣の家は大丈夫か確認し合うような「共助の精神」を養っていきたいです。

今後、益々行政と地域住民とが連携し、一体となって災害に対応していきたいです。



当地域では、常に防災意識を持って生活できるよう、地域内に常時のぼりを設置し啓蒙に努めています。

8月豪雨では、土砂崩れによる通行止めや、今までにはなかった被害が多く出ました。

家に居るだけでは道路が通行止めになってしまっていることがわからず、災害メールで初めて状況に気付きました。日頃から『情報伝達』を認識しておくことや、事前に危険箇所などの見回りをし、防げるところは対策をしておくことなども重要なこ



とだと感じました。

災害後、お互いに心配して声をかけあうなど、普段からの近所づきあいや交流がいかに大切かも痛感しました。このことからも、自治会やまち協の活動には皆さんに参加してほしいと思っています。

家に居るだけでは道路が通行止めになってしまっていることがわからず、災害メールで初めて状況に気付きました。日頃から『情報伝達』を認識しておくことや、事前に危険箇所などの見回りをし、防げるところは対策をしておくことなども重要なこ

阿古谷 まちづくり協議会

防災訓練 = 12月中に実施予定

運動会 = 10月18日（土）午前9時～

いずれもところ = 旧阿古谷小学校

防災訓練は、小さい地域ながらも、例年約100人が参加し、餅つき大会、グラウンドゴルフ大会、炊き出し訓練なども同時に開催し、地域の交流にも力を入れています。

しかし、旧阿古谷小学校で開催するため、お年寄りなどは会場までの距離があるため参加しにくい方もおられることから、

自治会単位で防災訓練を実施しているところもあります。

今まで、自主防災は「やらされている」という意識もありましたが、

今回の大雨の経験などから、せっかくの良い組織なので、これを活かすべきだと感じています。

人手の少ない平日の昼間に家に居る人が、行動を起こせるような訓練の強化や、様々な状況の中で、「今避難すべき」か、「避難するほうが危険だから、今は動かず2階にいるべき」などの判断ができるような訓練や知識の習得が必要だと感じます。みんなで声をかけあい、みんなで知識を高めながらその意識を広げていきたいと思います。



清水地区（台風11号）



銀山地区（台風11号）



差組地区（16日の大雨）

今年は日生中央駅前で開催！

第14回 いながわ秋山味覚まつり

町観光協会会員による自慢の『食』や秋の味覚の新米・栗・しいたけなどの特産品の販売を行います。

▷とき 10月19日（日）午前10時～午後4時

▷出店品 しいたけのつかみ取り、いなっこ巻、いなぼうバーガー、焼き鳥、いなぼう焼き、和菓子、里山ぶりん、栗のすくい取り、陶器販売など

▷問合せ 同協会事務局（産業観光課内 ☎ 766-8709）



同時開催！

きらっと☆阪神北オータムフェスタ

阪神北地域の文化・歴史、豊かな自然や特産物などの魅力を来訪者に紹介します。「HANKITAこども文化フェスタ」、「スマイル（青少年）フェスタ」のほか、猪名川源流太鼓による勇壮な演奏や、地元アーティストの「佐々木よしみさん」、「ダンス・デ・フレンズ」によるミニコンサートなど盛りだくさんです。

▷とき 10月19日（日）午前10時～午後4時
▷ところ カリヨンホール（日生中央センタービル3階）、日生中央駅前「人の広場」



▷内容 地域活動団体の活動状況紹介「地域見本市」、子ども向けの遊びコーナー、「こどもお茶会」、子どもの絵画作品などの展示や舞台発表など

▷問合せ 阪神北県民局ビジョン課（☎ 0797-83-3119）



大野山で自然を満喫！

～観光ボランティアガイドと歩く猪名川～

▷とき 10月11日（土）午前10時45分～午後2時40分頃

▷集合・解散場所 阪急バス柏原バス停

▷定員 先着40人

▷コース 柏原バス停集合→ゴルフ場入口→岩めぐり入口①（太鼓岩・大神岩・花立岩など）→岩めぐり入口②→大野アルプスランド（山頂三角点、天文台）→柏原バス停解散

▷持ち物・服装 水、弁当、雨具、山歩き用の靴、長袖の服、帽子、必要な人はステッキ、手袋など

▷その他 雨天中止、申込者には前日に連絡

▷申込方法 10月7日までに参加者氏名、年齢、性別、連絡先を電話で産業観光課まで

まち歩きマップを片手に猪名川町を歩いてみませんか？

見どころ満載の『まち歩きマップ』完成！「大野山岩めぐりコース」「大島さとあるきコース」などマップは全部で6種類。

町内の見てほしいところ、歩くときの距離や時間、トイレの情報など町を知り尽くしたボランティアガイドが考え、工夫して制作しました。

完成したマップは町役場、日生・六瀬住民センターなど各公共施設に設置しています。



問合せ 産業観光課（☎ 766-8709）

～町制施行60周年をみんなで盛りあげよう～

猪名川町の魅力

再発見！

猪名川町は、昭和30年4月10日の中谷村と六瀬村の合併により誕生しました。

来年、平成27年は、町制施行60周年の節目の年となることから、皆さんと一緒に祝いしようと、年間を通じてさまざまな記念事業を行う予定です。

4月に予定している「記念式典」では、以

前は町内各地で踊っていた「猪名川音頭」を皆さんと一緒に踊って、その魅力を“再発見”するための仕掛けづくりを進めています。

ほかにも、皆さんに参加いただける多数のイベントを企画していきますので、未来にわたって60周年の素敵な思い出が共有できるよう、みんなで盛りあがっていきましょう！

募集！
『カウントダウンアルバム』
参加者

『ロゴマーク』 & 『キャッチフレーズ』

平成27年1月1日から、町制施行60周年を迎える4月10日の記念日までの間、日数を表現した写真による「カウントダウンアルバム」への参加者を募集します。

応募された写真は町ホームページなどに掲載し、60周年記念を盛りあげていただきます。

▷応募資格 町内在住・在勤の人

▷定員 95組（個人、家族、グループなど）※定員超過の場合、抽選

▷申込み 町ホームページより電子申請または応募用紙をダウンロードし、10月31日までにメールやFAX、郵送または窓口持参



いずれも ▷問合せ 企画財政課（☎ 766-8711、✉ 766-8902、✉ kikaku@town.inagawa.lg.jp）



ゆるキャラグランプリ2014 みんないなぼうに投票してね！

投票は「ゆるキャラグランプリオフィシャルウェブサイト」(<http://yurugp.jp/>)から行ってください（ID登録が必要です）。投票期間は10月20日までです。

昨年度は571位でした。いなぼうは「今年はもっと上を目指すんだ～！」と意気込んでいます！

皆さん、いなぼうを応援してください！！